

行政改革の主な取組について

行政改革大綱 (第7次)の 視点	推進項目	担当部署	取組予定
効果・効率的な 行政財政運営を 目指して	1 個別施設計画 に基づく公共施 設の計画的な更 新と適正化	行政管理課	個別施設計画を令和2年度末までに策定します。
		環境課	福生市リサイクルセンター長寿命化総合計画に基づき、基幹的設備の更新を行い、リサイクルセンターの長寿命化を図ります。
	2 自治体業務の ICTやAI・R PAの活用によ る業務効率化	行政管理課	言語による情報格差の解消や利便性の向上、業務の効率化を図るため、多言語AIチャットボット等に関する実証実験を行います。
		秘書広報課	新たな情報発信ツールとして、スマートフォンアプリを導入し、市民がより手軽に欲しい情報を選択して、得ることができるよう、利便性の向上を図ります。
		総合窓口課	住民異動の際に関係各部署の端末に異動連絡を表示させることにより、来庁者の処理時間の短縮化及び事務の効率化を図るとともに、証明書発行の際に出力する申請書を電子ペーパーとし、紙資源の削減を図ります。また、保育所等に関する事務をワンストップサービスに追加します。※
		障害福祉課	聴覚障害者や外国人との円滑な意思疎通を図るために、専用のタブレット端末を窓口を設置し、テレビ電話により手話通訳及び多言語通訳を行います。※
		子ども育成課	外国籍の保護者と保育士等の十分なコミュニケーションが図れるよう、専用のタブレット端末を導入し、テレビ電話による多言語通訳を行い、児童の病気・アレルギー等の確認や制度の説明等に活用します。※
	3 自主財源の確保とPDCAサイクルによる事業の精査	企画調整課	平成30年度の基本事業に対する行政評価の中で改善対象となった基本事業に対しアクションミーティング(PDCAサイクルのAに該当)を実施し、令和3年度以降の事務事業の改善を図ります。

行政改革大綱 (第7次)の 視点	推進項目	担当部署	取組予定
効果・効率的な 行財政運営を 目指して	3 自主財源の確保とP D C Aサイクルによる事業の精査	収納課	携帯電話、スマートフォンによるSMS(ショートメッセージサービス)を活用した納税の呼びかけを行うシステムを導入し、市税等の更なる収納強化を図ります。
		シティセールス推進課	従来の地域課題解決(コミュニティビジネス)に対する支援という観点のみならず、広く空き店舗を活用した事業に対し補助することで商店街振興に加え、地域産業の活性化を図ります。※
	4 各種補助金等の有効活用	全課	国や東京都などの補助金等を積極的に活用し、財源を確保した上で事業を実施することで、財政負担の軽減を図ります。
既存の考え方 からの脱却	6 行政サービスの民間開放とアウトソーシングの推進	教育支援課	慢性的な人材不足等を解消するため、防災食育センターにおいて直営で実施していた学校給食調理業務の外部委託を行い、業務の安定化を図ります。また、施設等の維持管理業務についても合わせて委託を行い、業務の効率化を図ります。
		生涯学習推進課	ふっさっ子の広場事業について、令和2年4月から民間業者に委託することにより、安定した人材の確保及び見守りの質の向上に繋がります。
分かりやすい 行政と市民との 共創の推進	10 地方公会計制度の活用と財務状況の分析・公表	財政課	「使用料・手数料等受益者負担適正化方針」に基づく使用料・手数料等の改正に向け、公認会計士等の専門家による支援を受け、原価計算方法や減額・免除の考え方などの見直しを行います。
		教育支援課	学校給食費の公会計化を行い、給食費の賦課徴収状況や給食用食材費の支出状況を明らかにし、行政コスト計算等を通じ事業評価等に活用します。

「※」印の項目は、行政評価(試行)におけるアクションミーティングの結果を反映した取組です。